



ハッピーサンデーを初めて発行した日が、昭和55年(1980年)4月6日でした。

佐藤真実司祭の「日曜学校生徒のための新聞を作ろう!」という思いを受けてスタートしたのが始まりです。“手書きで毎週発行”から少しずつ姿を変えていき、今は月一回の発行となっています。

スタート時、SSの子ども達、スタッフを力強く導いてくれた司祭様からの励ましのお言葉をいただきました。

“番町より類家への移転時を思い起こし、八戸聖ルカ教会一致協力して今後のことに当たりましょう!”

司祭 佐藤真実

楽しい日曜学校

司祭 ステパノ 越山 哲也

ハッピーサンデー600号おめでとうございませう。第1号が発行されたのが今から38年前のイースターでした。私がまだ3歳9か月の頃です。息子の満優がちょうど今3歳9か月ですのでそう考えると長い歴史がありますね。

私も日曜学校が大好きでした。毎週日曜日が楽しみでワクワクしていました。教会のお友達はそれぞれ通っている学校は違いましたので1週間1回会って、一緒にお祈りや遊んだことをまるで昨日のように覚えていきます。

聖ルカ教会の大切な働きである日曜学校がこれからも楽しいものでありますようにと心より願っています。



ハッピーサンデーの発行をいつも楽しみにしています。いろいろな方々が関わって、これからもながく続きますように。

田村 満紀子

1980年当時、日曜学校の生徒であった田村恵理子さんの作品です。恵理子さんは、この作品の他にもたくさんのマンガを寄稿してくださいました。



38年もの間、途切れることなく続けられたことに感謝。これまで多くの関係者の皆様に支えられてきました。今後も“幸せを運ぶレター”として歩み続けられればと願っております。

小沼雅義



小瀬川 喜井 (こせがわ きい) 1970~80年代在籍

「柿屋、柿屋、こんにちは」と歌う私たちが長女が羨ましがった。わが家は四世代に渡り八戸幼稚園でお世話になっているのだが、残念ながら長女だけは違った。そんな長女にも、八戸幼稚園の雰囲気を感じたい時間を過ごしてほしいと、日曜学校へ通わせるようになった。教会、司祭様、オルガンの音色、礼拝、聖歌。どれも新しく輝きに満ちた経験だったという。

特に、今でも娘たちの宝物であり、心の根幹となっているのが、聖書の教えの記された小さなカード。次女は毎週、大切にファイルしていた。そのカードには聖書の教えとやさしい絵が描かれている。当時の私たちは生活環境を大きく変えた時期で、そんな中、前を向きその教えを心の糧としてくれていることが親として嬉しかった。また時には、新聞に掲載されるクイズに親子一緒に取り組んだ。正解者として名前が記載された新聞を、誇らしげに持って帰ってきた次女が未だに思い出される。

日曜学校や新聞を通じて、たくさんの方々にたくさんの愛を頂き子ども達は健やかに過ごすことができました。本当にありがとうございました。益々のご発展をお祈り申し上げます。

発行当時のハッピーサンデーは若林恵子先生が手書きし、イラストを山本（亀本）廣子先生が担当しておりました。今と違い毎週発行でしたので、恵子先生が紙面とにらめっこしながら描いていたのを思い出されます。特別号のイラストは、当時を思いひろ子先生にお願いしました。



石橋光一郎（いしばしこういちろう） 1980年代在籍
 30年以上も前の事ですのであまり覚えていないのですが、私達兄弟も3人で毎週のように通っていました。今よりもたくさんの子とも達で賑わっていたと思いますが、田村先生の紙芝居が始まると皆、静かになり聞き入っていたのを覚えています。そのやさしい語り口は今でも全く変わらず、子ども達を迎えに行ったときなど一緒に聞き入ってしまいます。わたしの子ども達も小さい頃から日曜学校を毎週楽しみに通っているのは、田村先生、小沼先生を始め、留美子先生、廣子先生など昔と変わらない先生方の日曜学校独特の雰囲気が好きなのかな？と思います。

幼稚園を卒業すると友だちと小学校が別々になり、なかなか会えなくなつてさみしく感じたと思います。小学生になつても3人で日曜学校へ行くこと友だちが待っていてくれました。そして温かい気持ちになつて帰ってくる事ができました。その当時の暖かい優しい気持ちを是非自分の子ども達にも味わってもらいたいとねがっています。



祝 600号！
 日曜学校の子とも達とこうやって関われるのは一瞬かも知れないけど、その一瞬を大切にしていきたいと思います。
 越山 香菜子

北村 巖宗（きらむら よしのり） 1990～2000年代在籍

私は幼稚園の年中の時から大学生までの17年間、日曜学校にお世話になっておりました。私の親戚や兄弟達も同様にお世話になっております。その間、様々な体験をさせていただきました。

礼拝・キャンプ・誕生会・バザーなどに参加し、手伝わせてもらいました。その中で特に印象に残っているものは、やはりバザーの行事です。バザーでは綿あめ作りなどを手伝わせてもらいました。作っているときはとても楽しく、親戚や兄弟達も同様の手伝いの際に同じ思いだったと聞いたことがあります。子ども達に綿あめを渡す際の笑顔に向けてもらうときがうれしかったとも言っておりました。

年齢が上がればあがるほど、このような子どもの笑顔にふれることは少なくなっていくように感じます。だからこそ、人のために小さなことでもやり、笑顔になってもらうという体験は、今考えると素晴らしいことを体験させてもらったと思っています。

今から20年ほど前に山路ゆう子さん（まんがバイブル作者）が、日曜学校の教材として、お父さんの山路瑞彦（やまじみずひこ）先生のことを紙芝居に描いたものです。

山路先生はご家庭ではもちろん教会でも「お父ちゃん」と呼ばれたくさんの方に慕われておりました。教会・日曜学校（特に湊日曜学校）・幼稚園のために“愛と奉仕の精神”で尽力された方で、教会の元気の源となっている方です。

<p>つきあい わるいな つまらん</p>	<p>やまこえ 谷こえ 先生は 今日も 汗かき 走ってる</p>
<p>ひとりぼっちで 酒にらむ</p>	<p>まじめで おんわで おひとよし</p>
<p>こんな夜には 聖書です せなか 丸めて 聖書です</p>	<p>じぶんの かていは あとまわし</p>
<p>人はパンだけでは 生きられない そうか そうだ そうだった よーし あしたも がんばるぞ!!</p>	<p>みんなの ためにつくすけど</p>

日曜学校の思いではキャンプですね。アブとの戦いと美味しいカレー。青年会の延長のような盛り上がりだったこと。

亀本 廣子



ハッピーサンデーの作成・構成を始めて3年目に突入！
 これからも皆が楽しく読める紙面を目指し頑張ります。発行に関わってきたたくさんの人に感謝！！

千田 留美子

ハッピーサンデー

6月号

八戸聖ルカ教会
日曜学校
600号
2018・6・3

「動物や鳥と一緒に生きる」

司祭 ステパノ 越山 哲也

「海、空、家畜、地の獣、
地を這ひつものすべてを支配せよ。」

(創世記 第1章26節)

5月23日に新井田川で苦しうに泳いでいる「ニホンカモシカ」が助けられたというニュースを皆さんは見ましたか。山に住んでいたカモシカが迷子になって街にきてしまったのかもしれない。なんと、そのカモシカの足跡が教会と幼稚園のお庭にありびっくりしました。また、幼稚園のお庭の木にカラスが巣を作っていました、かわそつだとは思いましたが安全のために巣を取り除きました。動物や鳥たちも人間と一緒に生きているのだなと思っただけで出来事でした。神様は人間をお造りになった時に、海の魚、動物たちのお世話をしなさいと言われました。人間が一番偉いのではなく、生きていくのに必要なだけ魚、動物の肉を食べなさいということなのです。「いただきます」と食事の前には「いただきます」が、それは私たちの命は魚や動物たちの命を頂くからありがとうございますの気持ちをお忘れなさいように「いただきます」と言っていますよと教えてもらったことがあります。

私たちの地球には人間だけではなく、多くの鳥や魚や動物たちが一緒に生きていくことを忘れないでいたいですね。

聖ルカクイズ正解者

たくさんの方が答えてくれてうれしいです。今年度からクイズの正解者にはシールを差し上げます。シールが3枚になるとプレゼントと交換します。お楽しみに。

◎幼稚科

荒谷 紗希さん 石橋 紗雪さん
川守田 紗那さん 中野 伶音さん
類家 颯介さん

◎小・中学科

荒谷 莉穂さん 石橋 彩花さん
池田 甘露さん 池田 葉さん
越山 碧さん 石橋 永翔さん

正解おめでとうございます。

★クイズは2ヶ月に1回です。クイズはハッピーサンデーの記事の中から出します。今月号からも出ると思いますよ！きちんと読んでくださいね。



教えて！これってなに？

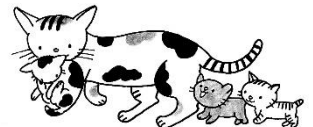
～天地の創造 これってなに？ その①～

わたしが生きているこの世界はどのようにして造られたのでしょうか。世界は神さまが造られました。最初は真っ暗で何もありませんでした。神さまが最初に造られたのは「光」でした。それから空、海、地面、植物、太陽、月、魚、鳥、動物と次々に造られていきました。そして最後に造られたのが人間でした。神さまは6日間でこの世界を完成され、7日目にはお休みになりました。(つづく)

ありがとう

作 若林 恵子

ようちえんからかえったミリちゃん、さつそくムーくんのうちへあそびに行きます。「いってきます。」おくからお母さんの声。「雨がふりそうよ、かさをもつてね。」「はい」ミリちゃんはそらを見あげて「だいじょうぶよね、くもさん。」かさをもたずにでかけました。とちゅうで、雨がふりだしました。いそいで大きな木の下に雨やどりです。「こまったなあ。お母さんのいうことをきけばよかった。」だんだん空がくらくらなり、雨もつよくなってきました。「つめたい！ぬれてもいいから、はしつてかえろう。」そうおもってみあげると、ミリちゃんの頭の上にまつ赤なカサがあります。ふりむくと、みしらぬ女の子がやさしく言いました。「うちはどこ？おくつてあげる。」ミリちゃんは胸がドキドキして、うちにつくまで何も言えませんでした。「ここがおうち」「そう、じゃあさようなら。」女の子はそのままいってしまいました。みりちゃんはおかあさんに女の子のことを話しました。「あつ、ありがとうもさよならも言わなかった。」「今度あつたらお礼を言いましょね。」「でも、このへんのことじゃないから会えないよ。」お母さんはこう話してくれました。「ミリちゃん今日はうれしかったでしょ？ミリちゃんが今日みたいに困っている人にやさしくしてあげたら、その女の子、ミリちゃんにやさしくしてあげてよかったなっておもうわよ。」





SSのまど



6月の活動予定と聖書・当番表



月日	司式当番	活動内容	担当T	サタデーミッション
6/10	越山 碧	遊んで学ぼう	かなこT	ゴスペルを歌おう
聖書の言葉	安息日を覚えて、これを聖なる日とせよ。 出エジプト 20:8			
6/17	合同野外礼拝（遠足）			ゴスペルを歌おう
6/24	横山 遥真	遊んで学ぼう	たむらT	ゴスペルを歌おう
聖書の言葉	人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい。 ルカ 6:31			
7/1	池田 葉	遊んで学ぼう	るみこT	ゴスペルを歌おう
聖書の言葉	恐れなくて、ただ信じていなさい。 マルコ 5:36			

♪ 今月の聖歌

子ども聖歌

11番

「けさもわたしの」

4番

「主に
したがいゆくは」



お正月に、「今年は・・・を頑張るぞ！」誓った事を振り返ってみると、心弱く誓ったことの半分も頑張っていないような・・・。もうすぐそこまで夏はきているというのに・・・。みなさんはどうですか？

5月の日曜学校は、聖霊降臨日を学び、みんなでモービルを作りました。

そのモービルは司祭様が教会につるしてくださり、その下に立つとなんだか、自分に聖霊が注がれて、力をうけているような気になります。子ども達の力は偉大ですね。



絵本の読み聞かせ、ゲームや昔の遊びもしましたよ。

先生達も童心にかえり、子ども達と一緒に



たくさん楽しみました。

そうそう、マジックカードも
作りました。カードを開くたびに
シールが消えたり、出たり。

これからも、たくさんのごことを

皆で楽しんでいきますよ。「あ！なんか楽しそう」と思った人がいたら、日曜日の9時に教会へ来てみませんか。いつでもみなさんを歓迎します。



これからの日曜学校

6月17日 野外礼拝

今年は十和田の駒っランド
小学生からは、子どもだけの
参加OK

7月26・27日 キャンプ

三沢キャンプ場で1泊2日の
キャンプ！参加は小学生以上

10月 バザー

聖ルカ祭

11月 収穫感謝 焼き芋大会

12月 クリスマス会

7月のキャンプは先生達と子ども
だけです。みんなでご飯を作
って食べましょう。

申込みはこれから。



天使のお部屋



今年もバスに乗って、サツマイモの苗植え遠足に出かけて来ました。軍手と長靴を履いて準備万端、畑はどこまでも広くお空も高い。

「サツマイモはどこからやって来たのかな？」地図を見ながらセンターの先生からの質問に「土の中！」の答えが帰って来ました。かわいい答えは、いっぱいあった方がいい。手順は、苗をさすための穴を棒で作っておいて、それから苗が折れないようにそっと差し入れます。その後倒れないように両手で土の枕を作ってあげて苗植えは終わりです。「大きく育てね。」8月にはすみれ組さんが草取りに行く予定です。学びがいっぱいありますように。（機会を与えて下さった農業経営振興センターの皆様の笑顔に感謝します。ありがとうございました。）

